

第2章 港区における現状と課題

現 状

- 65歳以上の人口については、大阪市全体で増加する中、港区でも同様に増加しており、高齢化率は大阪市全体は25.5%、港区は27.7%と大阪市全体と比べて高齢化が進んでいます。
- 高齢のひとり暮らし世帯が、大阪市全体で増えており、港区では、65歳以上高齢者のいる世帯のうち44%がひとり暮らし世帯です。
- 地域で把握されていない、もしくは高齢者自身が周囲に自分の状況を知られたくないなど、潜在化している支援の必要な高齢者が増えています。
- 地域福祉活動の担い手が高齢化し、新たな担い手が不足しています。
- 8050 問題、老老介護、ダブルケア、ヤングケアラーなど、地域福祉課題はますます多様化・複雑化しています。
- 少子化と子育て世帯の福祉的課題として、大阪市や全国の出生率と比較しても（出生率：全国6.8%、大阪市7.7%、港区6.5%）、長期的な少子化の傾向が顕著になっており、社会環境が変化する中で、身近に相談できる相手がなく社会的に孤立し、育児不安やストレスを抱える子育て世帯が増加しています。

※このページの統計数値は、いずれも令和2年時点